

第79回国民スポーツ大会アーチェリー競技会京都府選手選考方法

1 競技日程および会場

| 開催日 | 名称 | 会場 |
|---------|--------|----------------|
| 6月1日(日) | 1回目選考会 | 南丹市日吉総合運動広場運動場 |
| 6月8日(日) | 2回目選考会 | 南丹市日吉総合運動広場運動場 |
| 7月6日(日) | 最終選考会 | 南丹市日吉総合運動広場運動場 |

2 競技方法 リカーブ部門の70mラウンド(72射)を全日本アーチェリー連盟 競技規則(最新版)によって行う。
成年種別の最終選考会のみ70mラウンドを2回行う。

3 決定方法 ① 成年男子 3名
② 成年女子 3名

1回目・2回目選考会において1回目上位8名程度および2回目上位8名程度が最終選考会の出場権を得て、各種別最大16名程度で最終選考会を行う。2回とも出場することが望ましい。

1回目・2回目の高い方の得点+最終選考会の得点の合計点の上位者を京都府の国民スポーツ大会近畿ブロック大会出場選手として理事会に推薦の上決定する。

③ 少年男子 3名
④ 少年女子 3名

1回目・2回目・最終選考会ともに申込者全員に出場権があり、3回の選考会の得点のうち高得点の2回の合計点で選考し、上位者を京都府の国民スポーツ大会近畿ブロック大会出場選手として理事会に推薦の上、決定する。

※但し、国民スポーツ大会参加規定により予選会出場を免除できる選手については、予選会を免除し、理事会に推薦の上、決定する。

(「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」は4月末頃に概要提示予定)

※近畿ブロック大会で本大会出場枠を取得した種別については、理事会に諮り本大会出場選手を決定する。

4 参加資格 出場資格

全日本アーチェリー連盟に2025年度競技者登録を行っている者
ターゲットスターバッジ(グリーンバッジ以上)を所有している者

年齢基準

成年種別(成年男子・成年女子)

平成19年(2007年)4月1日以前に生まれた者

少年種別(少年男子・少年女子)

平成19年(2007年)4月2日～平成23年(2010年)4月1日までに生まれた者(中学3年生含む)

所属都道府県は次のいずれかが属する都道府県から選択する。

ふるさと制度を利用する者は必ず事前に事務局に連絡して所定の手続きをすること。

*「少年種別」一(ア)居住地を示す現住所 (イ)学校教育法に規定する学校の所在地 (ウ)勤務地

*「成年種別」一(ア)居住地を示す現住所 (イ)勤務地 (ウ)ふるさと

「ふるさと」とは卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ふるさと選手制度を活用し参加を希望する者は、ふるさと登録しなければならない。

一度登録したふるさとは変更できない。

初年度はふるさと登録届、次年度からはふるさと選手制度使用届を毎回提出しなければならない。

ふるさと選手制度の活用は原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。

5 その他 実施要項は4月初旬に案内します。

ふるさと選手制度の利用を希望する選手は事務局にお問い合わせください。

以上

国民スポーツ大会京都府選考会が中止となった場合の選手選考方法

京都府アーチェリー連盟

○実施 ×中止

| | 1回目 | 2回目 | 最終選考 | 選考方法 |
|---|-----|-----|------|--|
| ① | × | × | × | 前前年～当該年6月までの70mラウンド(公認記録)の成績で上位3名を選ぶ。 |
| ② | ○ | × | × | 成績上位3名を選ぶ。 3位が同点の場合は、①の選考方法に準じ他の試合の成績も参考に選考する。 |
| ③ | × | ○ | × | |
| ④ | × | × | ○ | ⑤⑥では、最終選考会への成年8位までの人数制限は行わない。 その上で、2回の試合のうち高得点の成績で上位3名を選ぶ。 3位が同点の場合は、①の選考方法に準じ他の試合の成績も参考に選考する。 |
| ⑤ | ○ | × | ○ | |
| ⑥ | × | ○ | ○ | |
| ⑦ | ○ | ○ | × | 「京都府選手選考方法」に従い選手を選ぶ。 |
| | ○ | ○ | ○ | |

* 参加申込時点で高得点2回の記録を申請

* 参加申込時点から6月までの間に申請点より高得点があった場合は追加で申請

* ①の期間

2025 年度 2023年～2025年6月